

令和5年度東京都入札監視委員会第3回制度部会（東京都電設協会との意見交換会）審議概要

開催日及び場所	令和6年2月1日（木） 東京都庁第一本庁舎北塔33階特別会議室N6
出席委員	愛知大学地域政策学部地域政策学科教授 齊藤徹史 （元）品川リフラクトリーズ（株）代表取締役副社長 仲田裕一 （敬称略・計2名）
審議事項	(1) 都の入札契約制度等に関する要望について (2) その他報告等
議案の概要	一般社団法人東京都電設協会からの都の入札契約制度等に関する要望について意見交換を行った。
委員会による審議結果報告	—
事務局からの報告	・「入札契約制度改革本格実施後の状況（5年経過）」について
委員からの意見等の概要	<p>(1) 一般社団法人東京都電設協会からの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現行の工事発注方式の堅持について</li> <li>② 公共事業の推進について</li> <li>③ 4週8閉所の実現について             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 適切な「概成工期」の設定と指導の徹底</li> <li>➢ 全体工期の延長や契約金額の変更（増額）</li> </ul> </li> <li>④ LED化の推進方法について</li> <li>⑤ 事業者団体との意見交換の継続、その活動に対する協力と支援について</li> <li>⑥ 財務局発注案件における重複申込可能な制度の導入について</li> <li>⑦ 価格高騰や資材不足に対する適切な対応について</li> </ul> <p>(2) 入札監視委員会制度部会委員からの質問等</p> <p><b>【委員からの質問等】</b></p> <p>適切な「概成工期」の設定と指導の徹底については、従来からも提案があったものと思う。本年4月から時間外労働の上限規制が適用され、これまでと環境が変わると思うが、都としては、この状況の変化に応じてどのような対応を考えているのかお聞かせいただきたい。</p>

**【東京都の回答】**

財務局としても働き方改革を考えており、例えば、リモートで材料検査等を実施するような遠隔臨場やインターネット上で書類等のやり取りを実施できるASPを使った情報共有システム、週休2日制での工事発注といった取組を実施していきたいと考えている。

**【委員からの質問等】**

業界としては、中小零細企業が多いという中で、今後も分離・分割発注をご希望ということであるが、契約方式について、一般競争入札や指名競争入札、総合評価など、業界としてはどういった方式が望ましいとお考えなのか、何かあればお聞かせいただきたい

**【業界団体の回答】**

電気工事の場合、現況は一般競争入札よりも指名競争入札の数のほうがかなり多い。東京都電設協会の会員は、Bクラス、Cクラスの会社も多く所属しており、Bクラスの案件はほぼ指名競争入札になっていると思う。現行の発注方式については、会員からもとても良い入札方式との声が上がってきており、協会としても分離発注と合わせて、現行の発注方式を堅持していただきたいと考えている。

以上

[その他]

特になし